

北梅田プロジェクトについて



2009年9月9日
(社)関西経済連合会 地域連携部長
神田 彰

(社) 関西経済連合会とは

関西経済連合会(関経連)は、主として関西一円において、産業・経済活動を展開している企業・団体、学校法人など約1500の会員で構成する総合経済団体。

関経連は戦後まもない1946年(昭和21年)10月に設立され、以来60年にわたり、わが国経済の当面する重要課題を調査研究し、関西経済界の総意の表明とその実現を図り、わが国経済の発展に寄与することを目的に活動。

2008年10月には、概ね10年先である2020年を念頭に置き、主として産業面から見た「関西のありたき姿(ありたい姿+ありたき姿)」と、それを実現していくためのビジョン「関西、おもろい! Dynamic Kansai! - 関西の「突破力」で世界に貢献 -」を提案

本年5月には関西経営者協会の事業を継承し、雇用・労働問題について、その機能と役割を担うこととなった。

設 立 1946年(昭和21年)10月
会員数 1493 (2009年5月25日現在)
 甲種会員… 法人会員567
 団体会員130
 個人会員 49
 特別会員 53
 乙種会員… 法人会員694
会 長 下妻 博(住友金属工業(株)会長)

関西ビジョン2020（俯瞰図）

関西の強みと潜在力

- (1) 多種多様な企業・産業・技術の集積
- (2) 生活者の視点で新商品・サービスを生み出す伝統
- (3) 東アジア各国との緊密な歴史的・経済的関係
- (4) 「知」と文化の集積
- (5) 多彩な魅力を有した都市群と豊かな自然

関西スピリット

- (1) 「世のため人のため」という商道徳が表す「倫理性」
- (2) 新たな技術や発想でピンチ・リスクを
チャンスに転換する「革新性」
- (3) 商売っ気を発揮して「生活」の視点から
新しい時代を提案する「獨創性」
- (4) 外部からも広く人材を受け入れ、かつお隣さんとの
共存共栄を重んずる「開放性」と「共生」の風土
- (5) 「ケチ」が褒め言葉となる、本当に有用なものしか
評価しない「合理性」
- (6) 独自の才覚を発揮する「自主独立」の気概

2020年に向けて重点的に取り組むテーマ

- (1) 「環境・エネルギー革命」で世界を大転換！
- (2) 「くらしを“面白く・豊かにする”ビジネス」で
アジア・世界をリード！
- (3) 「KISP」強化でアジア・世界の
「ものづくり拠点」に！
- (4) 「知識と知恵」の一大集積・創出拠点に！
- (5) 道州制の実現で分権型社会を構築！

世界・日本の現状と課題

世界：グローバル化の進展により
「チャンス」と「リスク」を同時発生

地球環境問題、資源エネルギー問題
世界経済の急激な構造変化など

今こそ関西の本領発揮のとき

「突破力」で

関西から世界・日本を変える！

日本：世界で果たすべき役割は
大きいはずなのに...

内向き志向で国際的地位低下と発言力
低下、少子高齢・人口減少、地方の衰退・
社会全体に閉塞感など

2020年の世界・関西の
“ありたき姿”

関西、おもしろい！

- Dynamic Kansai! -

多様性・活力 関西
多様性(ダイバーシティ)の高まり
によって地域に新たな活力が生じる。多様性は創造性を生み、世界が直面する課題解決への提案も次々に発信。

技術・創造力 関西
多様で層の厚いものづくり基盤
産業の集積と大学・研究開発拠点
との連携・融合により、世界が希
求する革新的な技術、商品・サー
ビスが続々と生まれる。

自立・地域力 関西
世界的な地域間競争のなかで、
自ら考え判断し、関西一体となっ
て行動する自立した地域となり、
分権型社会を先導する。

～世界の持続的発展に
貢献する関西へ～

関西、おもしろい！ Dynamic Kansai！

- 関西の「突破力」で世界に貢献 -

2009年度事業計画（1）

今こそ、関西の競争力強化を

【3つの基本方針】

・内需を喚起する機動的な経済運営と構造改革への対応

- ・現下の経済情勢を踏まえた緊急かつ効果的な経済・産業政策について具体策を要望するとともに、将来の不安感を打破し成長力の涵養を図るための政策について提言し、その実現を働きかける。

・"Dynamic Kansai!" の実現

- ・これまで「強い産業の実現」「アジアとの共生」「地域の自立 - 関西はひとつ」という3つの中期指針に照らして取り組んできた事業について、着実に推進するとともに、中長期的視点から「関西ビジョン2020」で示したアクションプランについて優先順位をつけて着手し、2020年の関西のありたき姿の実現に向け、取り組みを強化する。

・安定した雇用・労働環境の整備

- ・関西経営者協会が取り組んできた雇用・労働問題について、会員サービスの充実と、政策提言機能の強化を図る。

【3つの事業（“Dynamic Kansai!” の実現に向けて）】

1. 「環境先進地域・関西の創出」

- ・環境先進地域・関西の実力を発揮させるため、環境技術のPRから環境ビジネスソリューションの拠点づくりに注力すること。海外ビジネスへの支援も具体化したい。

2. 「ものづくり拠点の創出」

- ・関西をアジアのものづくりのネットワークの拠点とすべく、KIS P (独立系中堅ものづくり企業) の強化をはじめとする各種方策を練ること。

3. 陸海空の国際物流機能の強化

- ・高速道路のミッシングリンクの解消や関空・阪神港の活用、鉄道網の拡充等、関西トータルの物流機能の強化を図ること。

2009年度事業計画(2)

【2009年度事業の全体像】

I. 内需を喚起する機動的な経済運営と構造改革への対応

- 重点事業 1. 早期の景気回復に向けた総合的な経済・産業政策の実現
- 事業 1. 税財政と社会保障の一体改革の推進
- 事業 2. 企業法制を含む企業経営に関する課題への対応
- 事業 3. 地球環境・エネルギー問題への対応

II. “Dynamic Kansai!” の実現

[強い産業の実現]

- 重点事業 2. 環境先進地域・関西の創出
- 重点事業 3. ものづくり拠点の創出
- 重点事業 4. 知と情報の交流拠点の整備（大阪駅北地区開発の推進）
- 重点事業 5. 陸海空の国際物流機能強化
- 事業 4. クラスタ連携等による新たな産業の創出
- 事業 5. 「食と農」の競争力強化
- 事業 6. 技術の権利化と国際標準化戦略の推進
- 事業 7. 関西のブランド力向上と観光産業の振興
- 事業 8. 都市創造事業への取組み

[アジアとの共生]

- 重点事業 6. アジア諸国との経済交流強化
- 事業 9. グローバル経済に対応した通商政策・国際交流強化

[地域の自立—関西はひとつ]

- 重点事業 7. 関西広域連合の設置と分権型道州制の実現
- 事業 10. 国土形成計画への対応

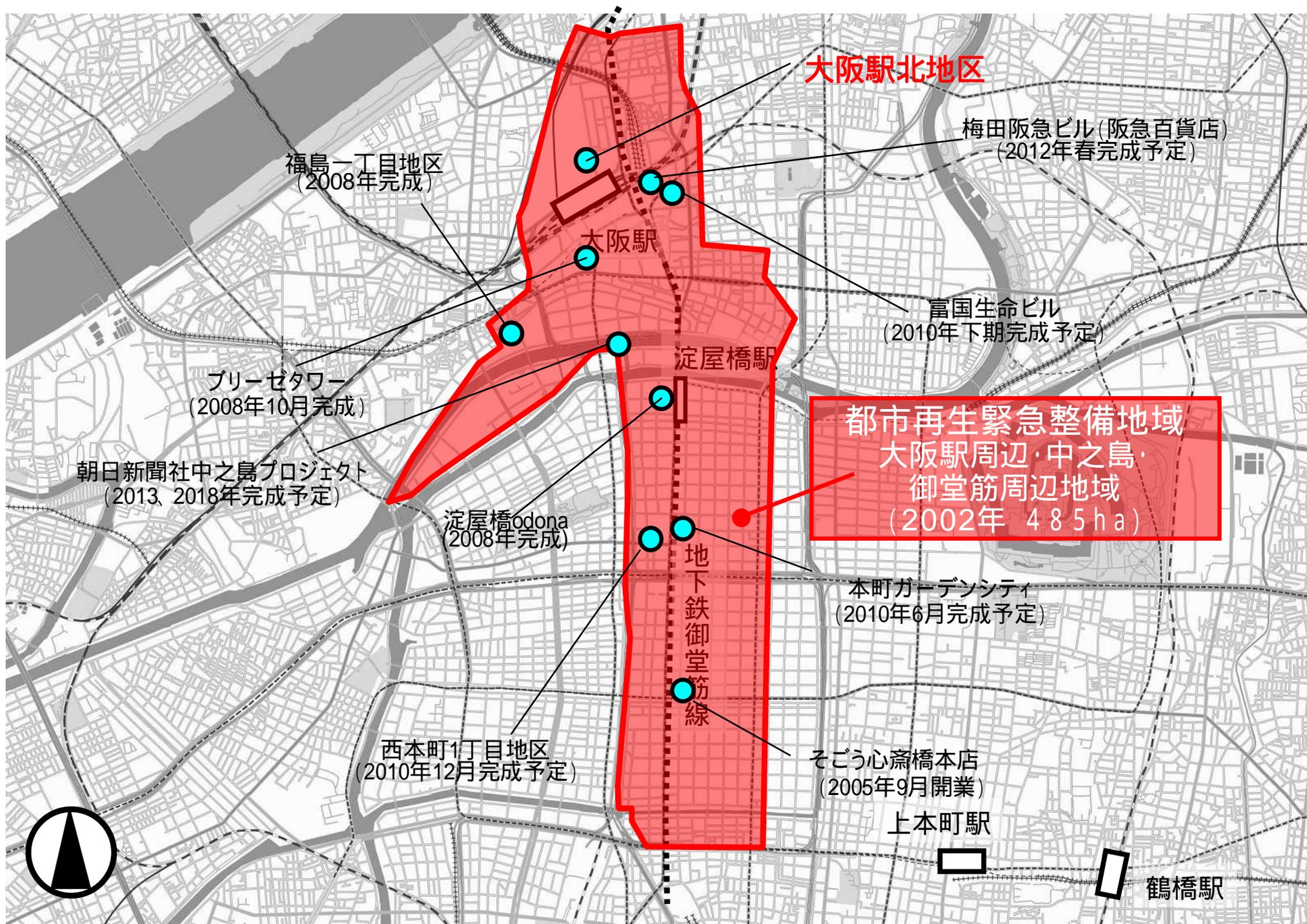
III. 安定した雇用・労働環境の整備

- 重点事業 8. 雇用・労働政策への対応
- 事業 11. 次代を担う専門人材の育成
- 事業 12. 社会人の人材育成のための産学交流・連携

IV. 事業推進機能の強化

- 事業 13. 関西の広域的交流の強化
- 事業 14. 情報受発信の強化等事務局機能の強化

大阪都心の都市再生緊急整備地域について



大阪駅北地区開発



先行開発区域
(約7ha)

大阪駅北地区
(約24ha)

阪急梅田駅

JR大阪駅

大阪駅北地区開発の経緯（1）（概略）

2002年1月 大阪市より要請を受け、
UR都市機構が
コーディネート業務に着手

2002年7月 都市再生緊急整備地域
の指定

2002年9月 国際コンセプトコンペの
実施

都市再生総合整備事業
特定地区(約190ha)

2004年7月 大阪駅北地区
まちづくり基本計画策定

2004年12月 先行開発区域の
都市計画決定

2005年3月 先行開発区域の土地の
一部取得

2005年6月 土地区画整理事業の
事業計画認可

2006年2月 先行開発区域の
～11月 事業企画コンペの実施

梅田貨物駅等(約24ha)

都市再生緊急整備地域
[大阪駅北周辺・
中之島・御堂筋周辺地区]
(約485ha)

大阪駅北地区開発の経緯（2）

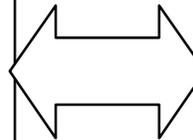
1987年（S62）		国鉄改革に伴い梅田貨物駅用地を国鉄清算事業団へ承継
2002年（H14）	7月	都市再生緊急整備地域に指定
	9月	国際コンセプトコンペ実施（H15年3月 結果公表）
2003年（H15）	12月	まちづくり企画委員会（委員長：堀井大阪21世紀協会理事長）設立
2004年（H16）	2月	土地活用企画委員会（委員長：吉田京都大学教授）設立
	3月	大阪駅北地区まちづくり推進協議会（会長：大阪市長）設立（H21.7.14まで9回開催）
	7月	大阪駅北地区まちづくり基本計画公表（大阪市）
	10月	ナレッジ・キャピタル企画委員会（委員長：宮原大阪大学総長）設立
	11月	大阪駅北地区まちづくり推進機構（会長：関経連会長）設立 ナレッジ・キャピタル推進室（室長：畚野ATR社長）設立
	12月	先行開発区域（区画整理、道路等）都市計画決定
2005年（H17）	3月	「ナレッジ・キャピタル構想」に向けての提言（ナレッジ・キャピタル企画委員会） UR都市機構が用地（約3ha）取得契約締結
	6月	土地区画整理事業 事業計画認可
	9月	ナレッジ・キャピタルの実現に向けて - ナレッジ・キャピタル推進室報告書 -
	10月	ナレッジ・キャピタル・コア施設入居希望者募集開始（H17年2月 選定・公表）
2006年（H18）	2月	地区計画、用途地域変更等都市計画決定 先行開発区域A・B・Cブロック開発事業者募集開始
	5月	Bブロック開発事業者予定者決定
	11月	A・Cブロック開発事業者予定者決定
	12月	先行開発区域開発協議会設立
2007年（H19）	6月	A・B・Cブロック土地譲渡契約に伴う土地引き渡し
2008年（H20）	2月	都市再生特別地区、地区計画変更都市計画決定
	7月	2期開発ビジョン企画委員会（委員長：西尾大阪大学副学長）設立（H21.3.30まで6回開催）
2009年（H21）	3月	2期開発ビジョンとりまとめ（7月公表）

大阪駅北地区先行開発区域の検討体制

大阪駅北地区まちづくり推進協議会 (2004年3月設立)

委員長:大阪市長
合同会議座長:関経連会長
事務局:大阪市、関経連、UR都市機構
(委員は、学界、経済界、行政、地権者、
UR都市機構等)
まちづくりの基本的方針について早期かつ
効果的に推進するため、計画策定、事業
方策、まちの管理・運営などについて検討・
協議し、その基本的方針の合意形成
を図る組織

連携



大阪駅北地区まちづくり推進機構 (2004年11月設立)

委員長:関経連会長
事務局:関経連、大商、同友会、
大阪市、UR都市機構
(委員は、経済界、企業、行政、UR都市機構等)

まちづくり基本計画の実現をめざし、基本計画に
即した開発を円滑かつ強力に推進するため、大
阪駅北地区まちづくり推進協議会、地権者、
大学等研究・教育機関との連携の下、関係者
が一致協力して、民間事業者の幅広い参画を
促す環境づくり、民間活力を最大限引き出すよ
うな知恵の結集まちづくり推進組織

まちづくり基本計画の策定

ナレッジ・キャピタルの実現に向けて
ナレッジ・キャピタル推進室報告書の作成

大阪駅北地区まちづくり基本計画について

I まちづくりの基本方針

《大阪駅北地区のポテンシャル》

世界につながる

JR東海道線支線の地下化や新駅設置を図ることにより、関西国際空港とのアクセスを強化し、東アジア経済圏との交流に対する優位性を確保

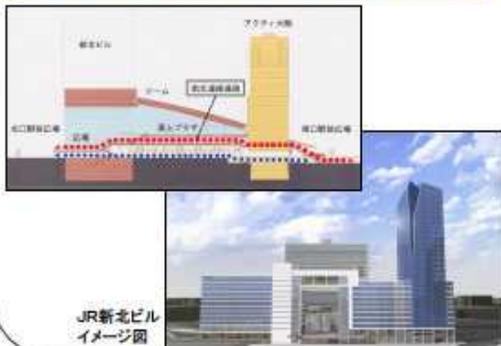


関西の広域中枢拠点

都市間鉄道により、関西主要都市と1時間以内で結ばれる広域中枢拠点

梅田を拡げる

JR大阪駅の改良計画とも連携し、周辺の開発拠点相互のネットワーク化を図り、大阪駅周辺の歩行者動線の回遊性・連続性を向上



「知」の結節点

関西に分布・集積する大学・研究機関や産業拠点等をつなぎ、新産業・新技術の創出や情報発信を図る



《まちづくりの5つ柱》

世界に誇るゲートウェイづくり

- アジア・世界へのゲートウェイをめざした国際的拠点としての機能強化と空間形成
 - ・JR東海道線支線地下化・新駅設置による関西国際空港とのアクセス利便性の向上など、広域交通ターミナル機能の充実
 - ・関西・大阪圏の玄関口として象徴的で風格のある駅前空間の創出
 - ・国際的なビジネス拠点の形成 など

賑わいとふれあいのまちづくり

- 人々がまちな集い、賑わい、ふれあい、まちでの活動を楽しむことができるまちづくり、歩行者主体の空間形成
 - ・賑わい軸における華やかで賑わいある空間の創出
 - ・賑わいネットワークなどによる回遊性の高い歩行者動線ネットワークの形成
 - ・人々の交流と賑わいの場を提供する都市機能の集積 など

知的創造活動の拠点(ナレッジ・キャピタル)づくり

- 新しい産業・技術、文化・価値を生み出し、関西から世界へ発信する知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成
 - ・関西のシーズと世界の人材・知識の交流の場
 - ・人の交流による新技術・産業・価値の創出の場
 - ・市場ニーズの把握と開発・商品化のための交流・展示拠点 など

公民連携のまちづくり

- まちの魅力の向上、効率的な運営管理をめざした公民連携による一体的なまちづくり
 - ・公民協働による水・緑の景の創出や広場の空間形成
 - ・公民連携によるエリアマネジメント組織 など

水と緑あふれる環境づくり

- まちで活動する人々にやすらぎとゆとりを与える水と緑豊かな都市環境の創出
 - ・シンボル軸における立体的な緑の空間と水のネットワークの主軸の形成
 - ・ストーリー性のある水環境の創出
 - ・多様な緑のネットワークに包まれたまちづくり
 - ・賑わい軸における商業施設と一体となった木漏れ日のある緑の空間の創出 など

○東アジア経済圏や関西圏などの国際・広域中枢拠点の形成

○梅田地区の中核として、開発拠点間の連携強化を図り、周辺地域へ開発インパクトを波及
《「大梅田地区」の形成》

ナレッジ・キャピタルの推進について

土地利用ゾーニング（まちづくり基本計画より）



中核機能の方針 - 未来の知的創造拠点(ナレッジ・キャピタル)の形成 -

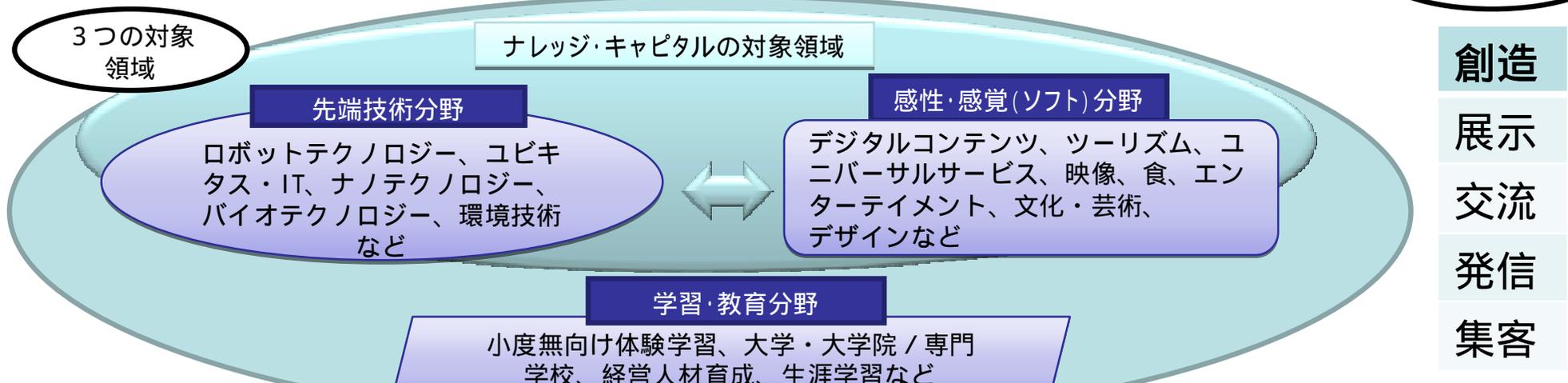


ロボットをはじめとして、IT、健康・医療、ナノテク、バイオ、環境、光技術などの先端科学技術・産業分野で高いポテンシャルを持つ研究開発拠点、大学、企業の関西における分布・集積を活かし、研究者、クリエイター、起業家、企業、消費者などが交流して、次代の関西を担う都市型産業やビジネスを創り出すことをめざすものである。

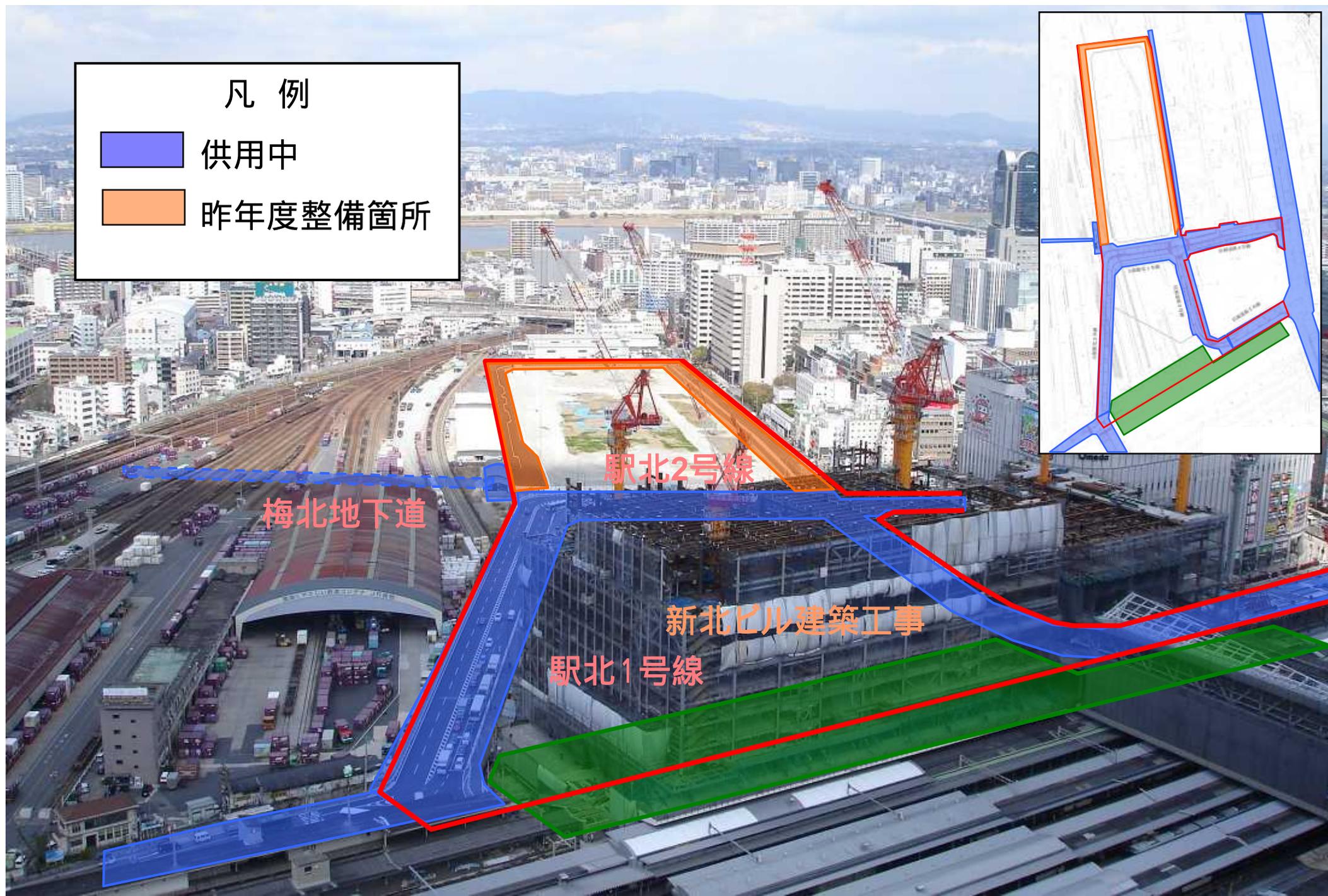
また、技術・新産業分野とあわせて、文化・芸術や法学・経済学など様々な分野の研究者が集い、交流し、新たな知識を創造し、関西から新しい価値を発信していく総合的な知的創造拠点である。

ナレッジ・キャピタル・・・未来生活の創造・受発信拠点

5つの基本機能



基盤整備（先行開発区域）の状況（H21.4）



凡 例



供用中



昨年度整備箇所

梅北地下道

駅北2号線

新北ビル建築工事

駅北1号線

施設構成

(敷地合計面積 約4.8ha、 延べ床面積合計 約50万 m^2)



C
Cブロック(住宅)
敷地面積 約4,700 m^2
建築面積 約2,500 m^2
容積対象面積 約53,700 m^2



広場
大阪北口広場(広場・商業)
敷地面積 約10,000 m^2
建築面積 約1,000 m^2
容積対象面積 約11,000 m^2



B
Bブロック(オフィス・ホテル・商業・ホテル)
敷地面積 約22,700 m^2
建築面積 約15,000 m^2
容積対象面積 約260,800 m^2



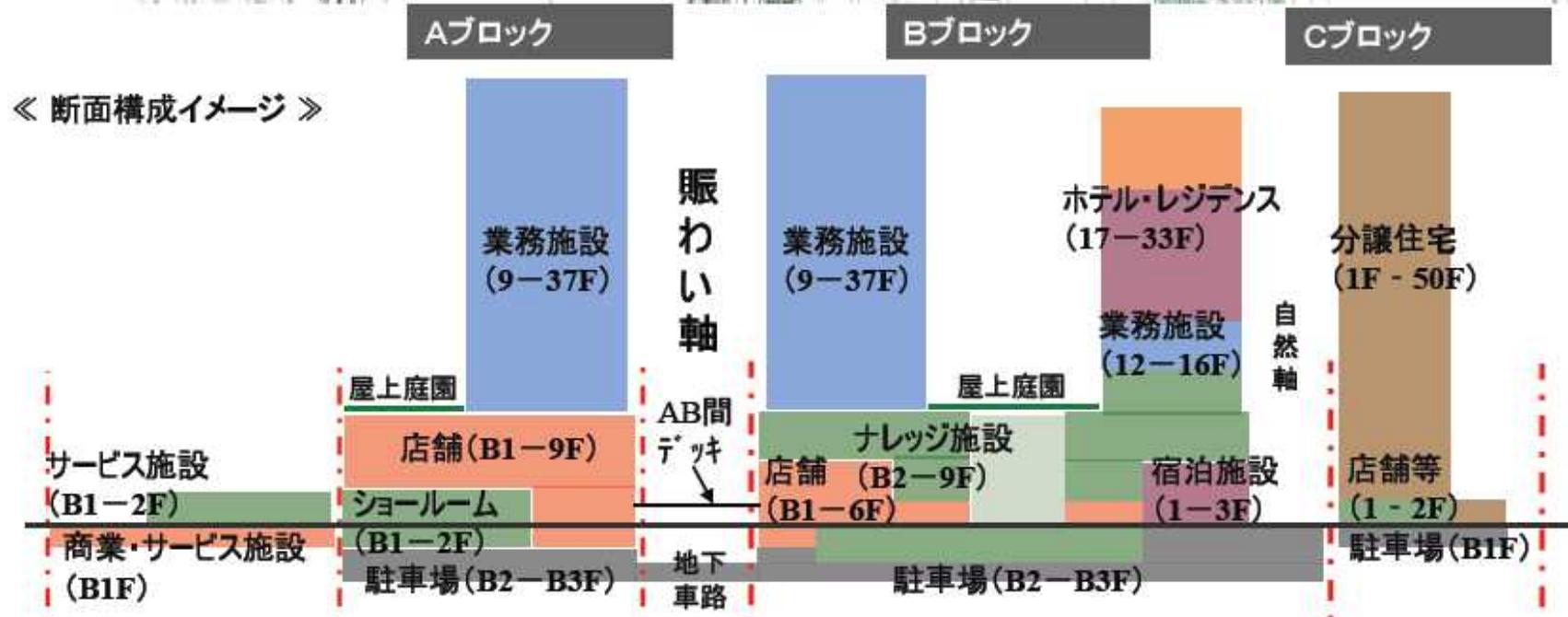
A
Aブロック(オフィス・商業)
敷地面積 約10,600 m^2
建築面積 約8,600 m^2
容積対象面積 約169,100 m^2

配置図及び断面構成イメージ

《 配置図 》

大阪北口広場
約10,000㎡

土地区画整理事業の区域面積(約8.6ha)の内、約5割(約4.3ha)が公共空間(道路、広場)



複数事業者による複数街区での一体的取組み



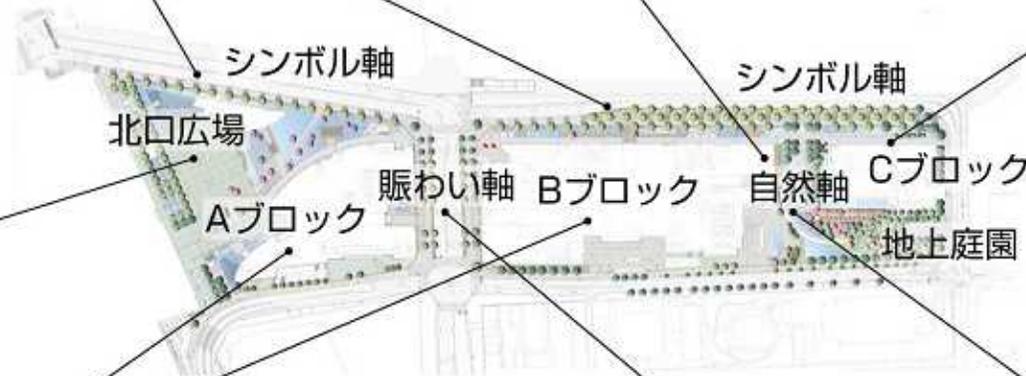
シンボル軸



都市回廊沿いの水路



北口広場のカスケード



屋上庭園



賑わい軸



自然軸と地上庭園の水景

先行開発区域のナレッジ・キャピタルについて

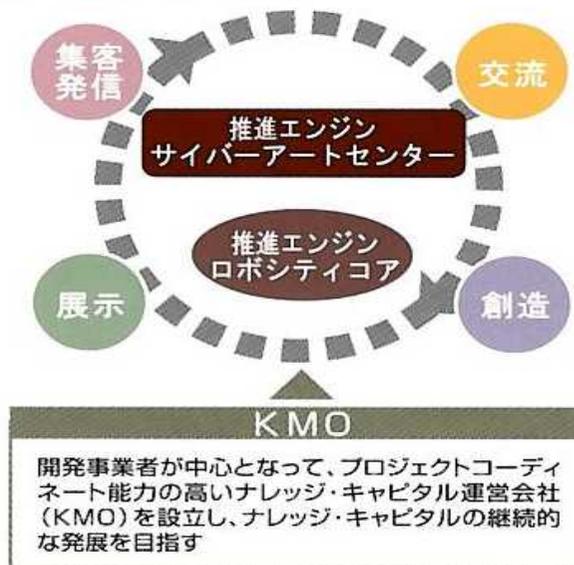
■8つの技術分野と4つのコラボレーション機能が融合

- 「先端技術がもたらす未来生活」をテーマに、「ロボットテクノロジー」と「ユビキタス・IT・デジタルコンテンツ」の2つの先端技術分野を中心に8つの技術分野を集積
- ナレッジ・キャピタルの基本機能（創造、展示、集客、発信、交流）に沿って、4つのコラボレーション機能を用意し、8つの分野を有機的に融合



■コラボレーションの推進エンジン

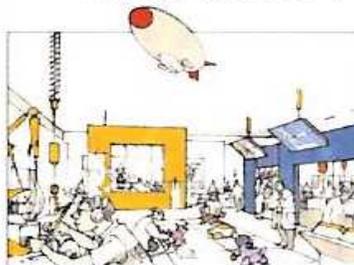
ナレッジ・キャピタルの基本機能を兼ね備えた複合施設（＝推進エンジン）がナレッジ・キャピタル内の創造・展示・集客・発信・交流機能を強力に循環させ、魅力的なコラボレーション環境を創出



■主要な推進エンジン

○ロボシティコア

- ①ロボットテクノロジーにおける世界水準の研究開発・情報発信拠点
- ②ロボシティコアと相乗効果を生み出す民間企業及び研究機関ネットワークの構築



オープンラボでの研究風景イメージ



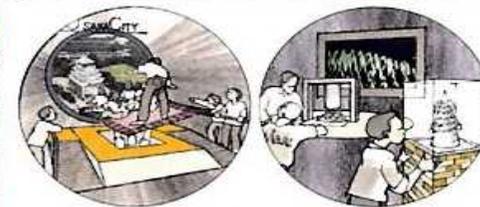
スタジオでのロボットサッカーイベントイメージ

○サイバーアートセンター

- ①先端技術とアート&デザインの融合により未来を生み出す研究開発拠点
- ②ミュージアム・見本市・エンターテインメントの複合した展示空間
- ③イベントの開催



※サイバーアートセンターは、この分野の先進モデルであるオーストリア(リンツ市)の独立行政法人「アルスエレクトロニカ」との提携を予定しています



サイバーアートミュージアムイメージ

KMO法人設立と事業展開

法人概要

- 商号：株式会社ナレッジ・キャピタル・マネジメント
- 設立：2009年4月1日

事業概要（2009年度）

- ナレッジコーディネート業務
 - ・ トライアル・サロン事業企画
 - ・ 外部連携
- テナント企画
 - ・ テナント企画・誘致
 - ・ 直営施設運営企画
- 広報プロモーション
 - ・ 広報・メディア対応
 - ・ プロモーション

知的価値創出の場の設定・運営

あつまる	ナレッジサロン 知的交流の場
つくる	ナレッジオフィススペース コラボレーション活動の場
みせる	フューチャーライフショールーム 未来生活の提案
	ナレッジシアター 創造の成果等発表の場
	ナレッジショップス 情報発信の場
まじわる	ナレッジプラザ 展示・交流の場
	コンベンションセンター 国際会議などの開催

コア事業者

ナレッジ・キャピタルの充実

トライアル2009 コラボレーションプロジェクト

- 1 流通を変える
ファッション・オン・デマンド
 - 2 立体ディスプレイ×コンテンツ
 - 3 次世代メディアデザイン
アイコンタクト
 - 4 立体映像、感触、音による
多感覚インタラクション
 - 5 VisLab OSAKA
ビジュアルリゼーション・ラボラトリー大阪
 - 6 多言語音声翻訳システム
- 携帯型のMy通訳 -
 - 7 食事支援ロボット
&マイデザイン
- ⋮
(全15プロジェクト)

コア事業者

発展

<活動例>

トライアルサロン

トライアル2010

FLS研究会
等

外部ネットワーク
との連携

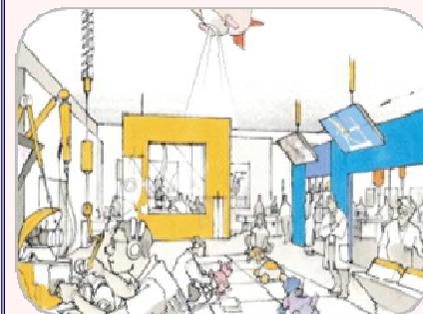
Knowledge Capital

ナレッジサロン



フューチャー
ライフ
ショールーム

サイバー
アートセンター
(CAC)



ロボシティコア
(RCC)

等

先行開発区域エリアマネージメント業務の概要

一体的なまちの管理・運営により、エリアブランドの創出をめざします。

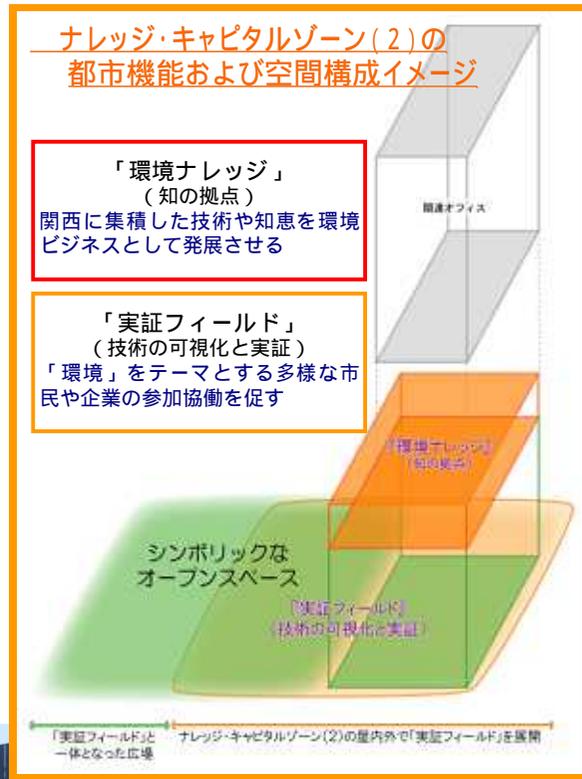


「まちづくり推進」業務には周辺地域等関係主体との連携により実施する業務を含む。

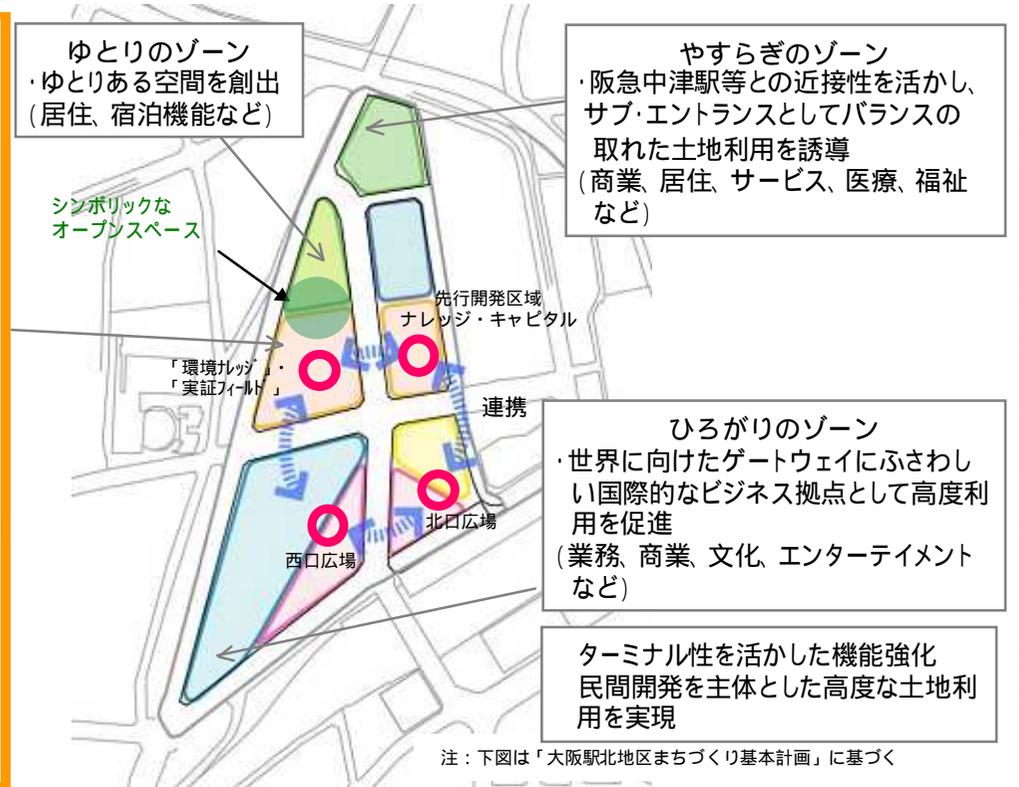
2期開発ビジョンについて

世界をリードする「環境先進地域・関西」の都市型環境拠点

グローバルな社会・経済環境からの視点で、地球温暖化への対応など地球規模の環境問題に取り組む「グリーン・アース」と、生活の豊かさからの視点で、快適な都市環境や人と自然にやさしいライフスタイルなど人に近い環境づくりに取り組む「アンビエント・ライフスタイル」をキーワードに世界をリードする都市型環境拠点の形成を目指す。



<都心におけるシンボリックなオープンスペースの事例>
ブライアント・パーク
(ニューヨーク)



2期ナレッジ・キャピタル実現に向けた「推進主体」

- 公民協働の考えのもと、国・地方自治体等の行政団体や、経済関連団体、大学等の研究機関、民間企業、NPO、市民団体等で構成される「推進主体」を設ける。



2期開発ビジョン - まちづくりの目標とナレッジ・キャピタルの考え方

次の4つの目標により、まちづくりを進める。

- **グリーン・テクノロジーのイノベーション拠点**
- **環境先進国をリードする人材の交流・育成拠点**
- **居心地の良い、質の高い都市空間**
- **自然と共生する技術や生活様式、都市空間を世界に発信する都市ブランドの創出**

ナレッジ・キャピタルにおいて、次の5つの展開を図る。

- | | |
|------------|---------------------------|
| 「実証展示・集客」 | 都市をフィールドに環境技術の実証実験など行う。 |
| 「ビジネス創出支援」 | 環境価値(ビジネス)の創出を支援する。 |
| 「人材交流・育成」 | 産官学や企業間の連携、人材育成を促進する。 |
| 「都市文化創出」 | 市民の参加と協働を促進し、環境活動の社会化を促す。 |
| 「都市ブランド形成」 | 「環境」をテーマに都市ブランドを形成する。 |

2期開発ビジョン - 居心地のよい、質の高い都市空間の形成

南北線・東西線の風格ある道路空間

グリーン・フレーム

エコ・トン・グリーン

シンボリックなオープンスペース

上空デッキの整備

西口広場は立体的な結節機能を備えた広場として整備

西口広場では交通結節点を形成

地下通路の整備



2期開発区域のまちづくり

- 基盤整備とJR東海道線支線の地下化・新駅設置 -

先行開発区域における実績を受け、

UR都市機構による

- ・土地区画整理事業の実施による都市基盤整備
- ・ナレッジ・キャピタル形成のための用地の
先行取得

に向け、関係者間で調整を図る。

平成21年度 国土交通省による
連続立体交差事業（施行者：大阪市）

の着工準備採択

今後事業認可に向け、関係者間で調整を
図る。

事業名

西日本旅客鉄道

東海道線支線

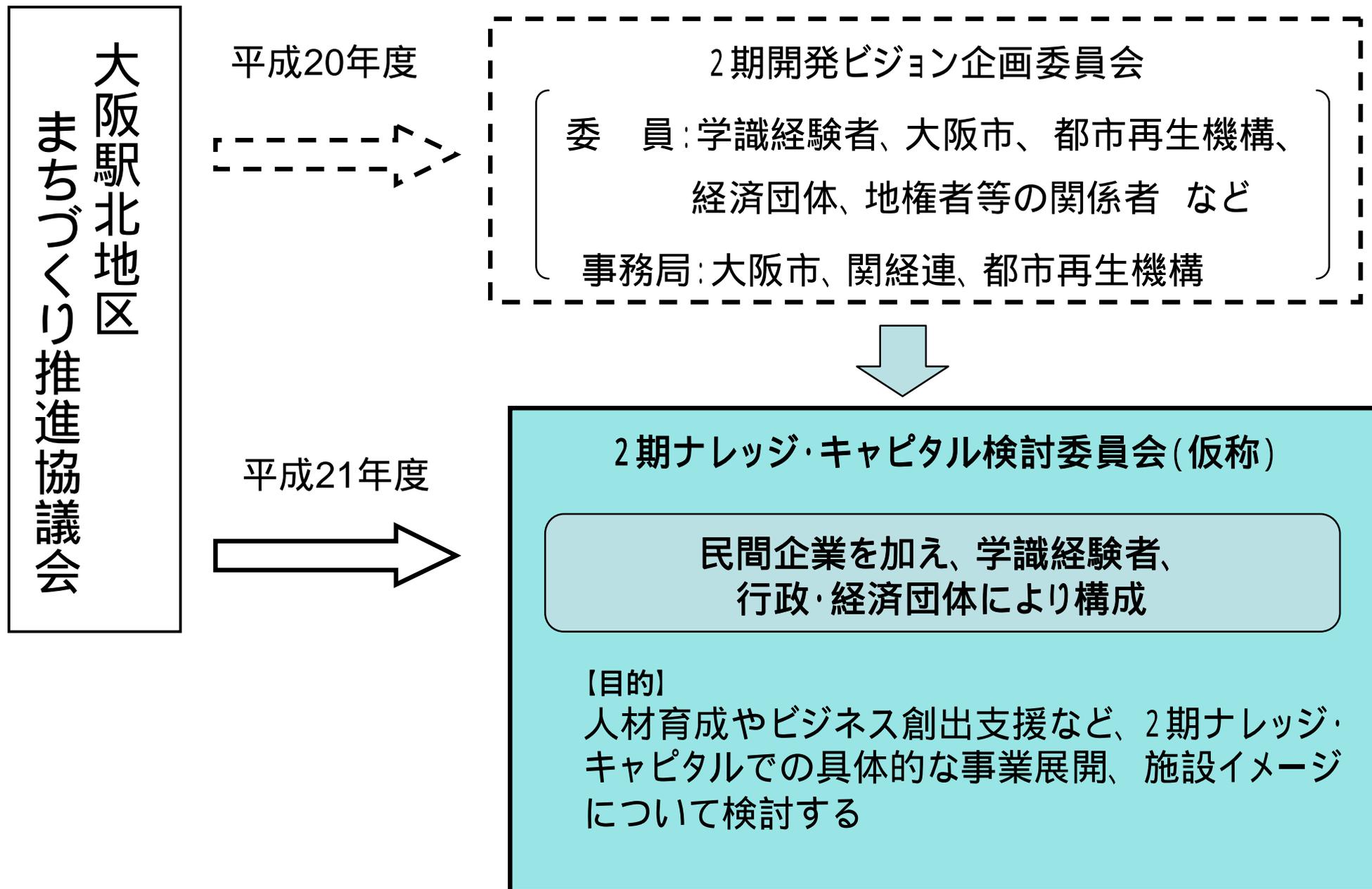
連続立体交差事業（大阪駅北付近）

対象区間

北区豊崎～福島区福島（約2.3km）



2期開発区域のまちづくり - ナレッジ・キャピタル具体化に向けた産学官での検討 -



大梅田グランドデザイン(2008年7月公表)

新駅北ビル計画



アクティ増床計画



JR大阪駅を中心に半径約1kmの円に含まれる範囲を『大梅田』と定義。

【大梅田の目指すべき都市ビジョン】
 関西経済のエンジンとなる京阪神大都市圏を形成し、日本・アジア経済の発展に貢献するための連携・交流拠点

【大梅田の中核機能】
 関西内外からの「ひと」を集客し・刺激、活性化、交流させ、新しい価値を生む機能。アジアの人々と関西の交流を促進する機能。



阪急百貨店建替計画



ビジョン実現に向けた戦略

1. ビジョンの共有・具現化
2. 中核機能の具現化に向けた仕掛けづくり
3. 民間活力を活用したエリアマネジメントモデルの検討
4. 民間活力を誘導するための政策提言

関経連の役割とは？

(1) “ありたき姿”実現に向けた「先導役」

ビジョンにもとづき、実現すべき経済社会や地域の発展の将来像や方向性を提案し、多くの主体の賛同を得ていく。

(2) アクション実行の「コーディネーター役」

アクションの実行に向けて、関係各界と連携・協力していく。

(3) 新たな課題設定やシステム変革を迫る

「調査研究・政策提言役」

OSAKA METROPOLITAN WATERWORKS EXHIBITION. A SPECIAL EVENT IS BEING HELD FOR 10 DAYS IN SUMMER.

OSAKA METROPOLITAN WATERWORKS EXHIBITION. A SPECIAL EVENT IS BEING HELD FOR 10 DAYS IN SUMMER.

水都大阪2009 中之島に全員集合!



水都大阪2009-中之島に全員集合!の期間
8月22日(土) - 10月12日(月・祝)
入場料 大人1,000円(税別) 小学生500円(税別) 小学生以下無料
お申し込みは <http://www.osaka-waterworks.jp>



水都大阪2009-中之島に全員集合!の期間
8月22日(土) - 10月12日(月・祝)
入場料 大人1,000円(税別) 小学生500円(税別) 小学生以下無料
お申し込みは <http://www.osaka-waterworks.jp>

おわり・・・ご清聴ありがとうございました